

視聴覚教育

NO. 377

発行日

23. 11. 25

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

『アプリ』

アプリケーションのこと。特定の仕事を処理するために作られたコンピュータのプログラム。ワープロソフト、表計算ソフト、メールソフト、ブラウザなども含まれる。応用ソフトとも言う。

「やってみたい」から「やってみた」へ

現職研修委員会学習情報部長 平岩和博

先月、アップルコンピュータの共同設立者の一人であるスティーブ・ジョブズ氏が亡くなりました。特に近年では、iPadやiPhoneを世に送り出し、世界中の多くの人々にデジタル化を身近に感じさせてくれました。あまりにも早い彼の死を惜しむ声が、世界中に溢れています。

CMでは、タブレットPCやスマートフォン色々な使い方が紹介されています。CMを視聴したユーザーを含めた多くの人々に、「こんなことができるのか」「自分もやってみたいな」と思わせてくれます。実際に、世界中でこれらの商品は飛躍的に需要を伸ばしています。

学校には、50インチの大型ディスプレイやノートパソコン、教材提示装置が導入されて2年目になります。これらの視聴覚機器を活用し、授業で大きく資料提示し、子供たちが意欲的に活動する授業を進めている先生がいます。一方で、それらの機器を授業でどう使うのかというイメージが思い浮かばず、機器の活用に至らない場合もあります。あんなことがしてみたい、こうやって使いたいなどと、多くの先生が

使いたいという気持ちになれば、ICT（情報通信技術）を効果的に活用し、子供たちが目を輝かせて学習に取り組む授業がどの教室でも進められることでしょう。

ICTを活用した授業実践事例は、この月報「岡崎の視聴覚教育」に毎月掲載されています。また、学習情報部のホームページや毎年先生方に配付されている「視聴覚教材・機器活用の手引き」にも数多く掲載されています。これらの実践事例を読むことで、「自分にもできそうだ」、「これを参考にしてみよう」と、きっかけをつかみ、毎日の授業のちよつとしたヒントにしていくのではないかと思います。

ユーザーを引き付けるCMのように、学習情報部も、多くの先生方がICTを「使ってみよう」と思えるような啓発活動を今後も行っていくか悩まないと実感しています。そして、多くの先生が、授業後の少しの時間に、まずは試しに視聴覚機器を使ってみることも必要でしょう。使ってみて初めて、「自分でも活用できそうだ」という自信がもてるはずですよ。さあ、初めの一步を踏み出してはどうでしょうか。



|| 視聴覚教育あれこれ ||

● 情報モラル教育の指導の徹底を！

先月、不正アクセス禁止法違反の疑いで中学生の児童・生徒が愛知県警に摘発された。

愛知県に限らず、全国的に未成年の子供たちが不正アクセスで補導される事件が起きている。「摘発されるまで、犯罪という認識を持っていない子供が多い。放置すれば、将来のネット利用者としてのモラルに大きな悪影響を及ぼす可能性がある」と警察は指摘している。

子供たちがインターネットサイトで不正アクセスを犯したり、またネット犯罪に巻き込まれたりしないために、学校で情報モラルを取り上げることは重要である。

岡崎市の学校のホームページのトップには、必ず「情報モラル専用サイトiモラル」へのリンク用アイコンが貼られている。まずはサイトを閲覧し現状を理解したり、各校の取り組みを参考にしたりして、目の前の子供たちにどう指導すればよいのかを考えていただきたい。

他にも、OKリンクのトップページには情報モラルに関する情報や教材へのリンクがいくつもある。

まずは教師自身が知識を深め、子供たちに情報モラルに関する知識と知恵を伝えてほしい。



実践報告Ⅱ

ネットいじめについて考えよう
常磐南小学校 河野 崇

昨年度まで、本校ではメールを使用する子がほとんどいない状況であったが、本年度は本学級の約一割がメールを使うようになっていいることが分かった。そこで、「事例で学ぶネットモラル」の「ネットいじめは絶対やめよう」という映像クリップを使い、ネットいじめについて考える情報モラルの授業を行った。

物語の主人公が学校に行けなくなった理由や、掲示板に悪口を書きこんでしまった理由、友達に意見を伝えるにはどうしたらよかったのか、などを話し合った。そして、本時の学習を振り返って、ネットいじめを防ぐには、どんなことに気をつけたらよいか考え、発表をさせた。



授業終末に書かせた感想には、絶対にネットでの悪口は書かないようにする、悪口を書かれた人は深く傷つくことが分かった、ということが多く書かれていた。メールや掲示板への書き込み経験のある子には実感を伴った重みを、経験のない子の心にも行為の重大さを考えさせることができた。これから、多くの児童が携帯電話を保持するようになることを考えれば、事前に正しい使い方を学ぶことは有効である。

今後も、小学校段階において確実に身につけておくべき情報モラルについて、正しく理解させていきたい。

レッツ・トライⅡ
パソコン操作の基本練習

「キューブきつず2（スズキ教育ソフト）」

家庭にパソコンが普及し、インターネットを使って調べ学習をしたり、オンラインゲームを楽しんだりする子供たちが増えている。しかし、すべての子供がパソコン操作に慣れ親しんでいるとは言えない。例えば、「ドラッグ」という用語一つとつても、マウスのどの部分をどう操作するのか知らない子もいる。今回紹介する、「キューブきつず2」は、

低学年向けと、中・高学年向けの二つのモードがあり、特に低学年向けの「らくらくモード」は、パソコン操作の基本を分かりやすい説明でゆつくりと習得する構成となっている。「らくらくモード」の中にある「マウスレッスン」をお薦めしたい。



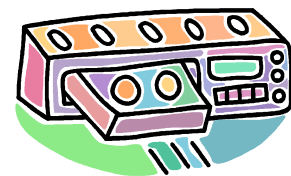
パソコンを使うときの正しい姿勢や休息のタイミング、子供たちの健康への配慮、マウスの持ち方、どの指でどちらのボタンを押さえるのか、クリック、ダブルクリック、ドラッグ等の基本用語のやさしい解説、操作の練習用ミニゲームなどが設定されていて、ゆつくりと楽しく取り組むことができる。

基本操作と用語の共通理解に大変役立つソフトである。

（常磐東小学校 学習情報主任 徳原 雅治）

教材をご利用ください

ライブラリーではたくさんさんのビデオ、DVD教材の貸し出しをしています。昨年度も百五十本を超える教材を購入しました。一例として、情報モラルの教材「ネットいじめ ひとりで悩まない」他や英語教材「ポケモン de イングリッシュ」他、福祉に関する教材「手話で歌おう①世界で一つだけの花」などがあります。



他にも「NHKスペシャル」や「BBCの未知なる生命・ヒト」など、貴重な映像が入った教材もそろっています。

年度初めに配布された「視聴覚教材・機器利用の手引」に教材の一覧が掲載されていますし、インターネットでも検索が可能です。ぜひご利用ください。

第九回ふるさと岡崎

メディアコンクールのお知らせ

「ふるさと岡崎メディアコンクール」の作品を募集中です。お手元に自作教材や児童・生徒の作品がある方は、ぜひ応募してみてください。自作教材が手元のない方は、この機会に教材作りに取り組んでみてはいかがでしょうか。

締切は12月2日（金）です。詳しい要項は各学校に配布されています。学習情報主任の先生にお尋ねください。または、視聴覚ライブラリーに直接お問い合わせください。

多くの方のご応募をお待ちしております。